

やおの祭まつ 春号 2025

やおの祭まつ 2025 春号 発行日 2025.3.31
発行：八尾市 観光・文化財課
企画・制作：NPO法人 HICALI
編集：“八尾の祭り”を楽しむ わくわく実行委員会



“八尾の祭り”を楽しむ
わくわく実行委員会

凡 例

ふとん太鼓

だんじり

まくら太鼓

みこしのみ

摂津名所図会(1796年-1798年)に
描かれたふとん太鼓のお祭りの様子



「やおの祭まつ 2025 春号」に寄せて

日本の祭りの始まりは「祇園祭」だと言われています。1150年以上も昔、京都で伝染病が流行し、多くの人々が命をなくしました。それが神様の祟りだと言われるようになり、それを鎮めようと「やま」や「ほこ」を引いたのです。八尾でも千年以上も前に神の力で疫病や禍（わざわい）を鎮めようと、大阪の住吉神社まで神輿の巡行が始まりました（恩智神社）。神輿の前を太鼓の音で邪気を払い清めるふとん太鼓が巡行するようになったのは江戸時代中期からです。

ふとん太鼓やだんじりが登場する八尾の夏と秋の祭り。ふとん太鼓だけ、だんじりだけの地域もあります。神社に1台というわけでもなく、何台も宮入りする地域、その後に町会や子供会で所蔵している地域もあります。26年前から毎年作成してきた“祭まつ”に載っているように、ふとん太鼓の数・だんじりの数だけ祭りの数があると言えます。

ふとん太鼓やだんじりの祭りを知らせる街道の幟（のぼり）、太鼓の音、揃いのはっぴの担ぎ手達。巡行や宮入に集まる人々。それぞれのまちで守られてきた伝統を受け継ぎながら「自分のまちの祭りが一番！」の“八尾の祭り”は、世代を超えて楽しまれています。

「ドンデンドーン」と響く太鼓の響きや叩き方・「ヨイヤッサージャー！」の掛け声は地域により少しずつ違いがあります。ふとん太鼓やだんじりの“八尾の祭り”を、八尾で、毎年の“祭まつ”を見ながら、体感して楽しんでください。

※ 荒天などにより中止や日程変更になることもあります。

※ 記載漏れ、誤字などありましたら、お許し下さい。
なお日程は、発行時調査のものです。
お気づきの点、情報などありましたら、問い合わせ先までご連絡ください。